

ことしで二十三回目を迎えた川越菊まつり。期間中、多いときには一日に一万人以上の方が訪れました。十一月七日、四百三十一本の菊が並べられた喜多院境内の会場で、花に飾られた太田道灌おたみちかみに出会いました。黄色と濃いピンク色をした小菊をまとい、弓を持って遠くを眺めるその姿。ちよつと照れているようにも見えませんか？



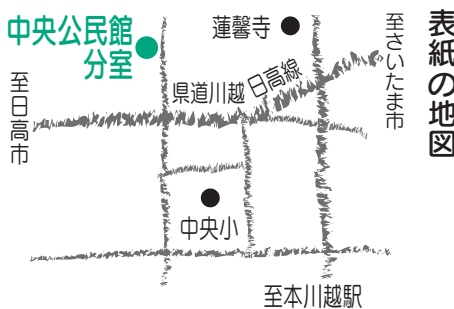
会場内には中学生の皆さんが育てた菊もありました。上から鯨井中学校・霞ヶ関中学校・砂中学校の皆さんの作品



どんぐり

編集後記

若かったころ、よくレコードを聴いていたロックバンドが来日しました。43年前に結成したときのメンバーは4人。そのうち2人亡くなったものの、64歳のボーカリストと63歳のギタリストは健在です。もう見る機会はないだろうと公演に出かけ、ほとんどかつてと変わらない曲を聞いて懐かしさが込み上げてきました▶年齢を重ねるにつれ、日々の節目を大切にしたいと思うようになってきました。あと20日ほどで、40歳代最後の年を迎えます (SHI)



マキ

おしやべり倶楽部

植物あらかると

236

中央公民館分室の玄関前で、縦に二つ並んだ実を付けた植物を見つけました。上の実は初め黒っぽい色をしていますが、熟すと赤く色づきます。白い粉をまぶしたような下の実は硬く、直径一センチほどです。葉は、幅が細いわりに長く、しつかりとしていて、葉先が上を向いています。この木はマキ。赤く色づく部分は花托かたたくと呼ばれる物で、種は下の実です。

同館分室は、三橋村みはしむら(現在のさいたま市)にあった小泉八雲こしみづやまの長男が住んでいた建物です。現在地に移築され、昭和五十八年から文化活動の場として使われています。